

人間科学科について知りたい方のための

フリーペーパー『らいふみる』



2026年版 第2号

こんにちは！らいふみるです。最近、日中の気温が上がるようになり、初夏の陽気を感じるようになりました。人間科学科の新入生たちは、早いもので入学から2ヶ月が経ちます。4月の初めは不安も大きかったと思いますが、少しずつ友人との関係性を深めている様子もみえ、落ち着いて大学生活を過ごせているようです。

さて今回は、人間科学科の4年間の学びをご紹介します。講義科目と演習科目のそれぞれの魅力についてお伝えします。人間科学科の各授業は、学科の学びのテーマである「Life(生活・生命・人生)」にどのようにアプローチしていくのか、詳しくみていきましょう。



学科キャラクター らいふみるくん

【人間科学科の4年間の学び】



1年次

第I類科目と学部・学科の基礎部門科目で基礎固め！

1年次には、大学の共通教育である第I類の科目と、学部・学科の基礎部門にあたる科目を中心に履修し、学びの土台を作ります。



2年次

学科の第II類科目により専門的な学びへ！

2年次より、学科の第II類の専門的な科目を中心に履修します。



各専門分野の講義で知識を修得するとともに、研究手法についても学びます。

3年次

いよいよ専門分野別の専門演習(ゼミ)に所属！

3年次には、心理学・社会学・身体科学の各分野を専門とする専門演習(ゼミ)に所属し、少人数で特定の領域の学びを深めていきます。



4年次

**4年間の集大成
卒業論文執筆！**

4年次には、4年間の学びの総まとめとして、卒業論文の執筆に取り組みます。

3年次に所属したゼミの教員の指導を受けながら、自分でテーマを設定し、研究を実践していきます。

卒業



【人間科学科の授業のココが面白い！】



◆講義科目◆

人間科学科の授業科目のうち、専門部門である講義科目は、「人間発達科目(A群)」と「現代社会生活科目(B群)」という2つの科目群に分かれています。

- 「心理学」の科目は、実験心理学、社会心理学、発達心理学、認知心理学といった各専門分野に基づく講義内容を中心としています。
- 「社会学」の科目は、社会学理論、環境社会学、地域社会学、ライフコース研究、家族社会学、労働社会学、歴史社会学、文化社会学に関連した講義を開講しています。
- 「身体科学」の科目は、運動生理学、健康科学、測定評価学といった各専門領域に基づいて構成されます。

【2026年度 人間発達科目(A群)一覧】

科目名	担当者	テーマ
生命科学	川原 玄理	様々な生体内で起きている現象を生命科学の視点から考える
身体活動の科学	内田 英二	運動や身体活動による身体諸機能の変化について
発育発達と運動	内田 雄	子どもの発育発達を動きの観察と体力・運動能力の評価から読み解く
脳と心	荒生 弘史	脳をはじめとする生物学的構造や過程と、心のはたらきとの対応関係をとらえる
基礎心理学	西村 悠貴	心理学の基礎と研究方法を学ぶ
心の認知科学	井関 龍太	記憶や思考などの人間の認知メカニズムについて学ぶことを通し、実証的な考え方を身につける
認知社会心理学	井関 龍太	社会的情報や対人相互作用における人間の認知メカニズムについて学ぶことを通して実証的な考え方を身につける
感情心理学	荒生 弘史	感情の働きと人間行動の関係について理解する
生涯発達心理学	生駒 忍	受胎から死に至るまでの発達心理学
生と死の社会学	木村 豊	現代社会を生きる「個人」の〈生〉と〈死〉について考える
ライフコースの社会学	澤口 恵一	現代社会における人生の変化と社会変動との関係を理解する
健康心理学	塚田 知香	ストレス理論と対処の実践的理解
動物と人間の心理学	高岡 祥子	比較心理学, 比較認知科学
人間発達特講A	畑山 直子	沖縄社会を人の移動の歴史と諸個人の生活史から読み解く
人間発達特講B	内田 雄	加齢に伴う体力変化と生活機能・高齢期の健康課題を「Life」の視点から理解し、予防・支援を考察する

【2026年度 現代社会生活科目(B群)一覧】

科目名	担当者	テーマ
社会心理学	谷田 林士	社会的環境への適応という観点から私たちのこころの働きを理解する 対人関係を深化させるコミュニケーション能力の向上を図る
コミュニケーションの心理学	谷田 林士	対人技法を習得しながら、コミュニケーション能力を向上させる
ジェンダーの社会学	関根 里奈子	ジェンダー、家族、労働、セクシュアリティ、女性学・男性学
現代社会論	河合 恭平	社会秩序はいかなるときに崩壊に向かうのか
親密圏と家族の社会学	澤口 恵一	家族とは何か、家族という集団の現代的課題について考える
生活環境の社会学	荒川 康	人間の暮らしと環境問題
都市と地域の社会学	荒川 康	日本の都市と地域の今を考える
職場の社会学	池田 心豪	コミュニティとしての企業と職場
仕事の社会学	池田 心豪	仕事と生活——現代社会で働きながら生きていくこと
文化の社会学	木村 豊	多様な文化と共に生きる社会について考える
情報と社会	若狭 優	現代社会を「情報」、「コミュニケーション」、「メディア」をキーワードにして捉える視座を養う
出版文化論	松下 優一	デジタル時代に考える出版文化の可能性
社会問題の社会学	畑山 直子	現代日本の社会問題を人口と階層から読み解く
現代社会生活特講A	伊奈 正人	情報化・グローバル化と現代生活
現代社会生活特講B	関根 里奈子	社会学 メディア 文化 ジェンダー コミュニケーション

💡 【人間科学科の魅力①】 —2025年度卒業生のコメントから—

- 人間科学科の魅力は、1つの学科で心理学、社会学、身体科学の3つの学問領域を学ぶことができる点にあると思います。人間科学科の中で学んでいると、社会学で学んだことが心理学の学びと繋がり、心理学で学んだことが身体科学の学びと繋がる、といった異なる学問領域同士の繋がりを感じることができます。(Aさん)
- 人間科学科の良いところは心理学、身体科学、社会学を複合的に学べたことです。もともと様々なことに興味があった私としては、人間科学科はぴったりの学科でした。それぞれの分野の知識を深められたことで、日常生活の中で関連する出来事に触れた際にも、以前より深く理解し、自分なりに考えられるようになったと感じています。印象に残っている授業は「心理学の基礎」と「心の認知科学」です。私が好きなのは社会学ですが、これらの授業は大学での学びらしい学びを得ることができました。(Bさん)

◆演習科目◆

人間科学科の授業科目には、講義科目だけでなく、さまざまな演習科目が用意されています。

- 1年次の「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」は、少人数のクラスで人間科学科の学び方(研究書や論文の読み方、プレゼンテーションの方法、ディスカッションの方法、レポートの書き方など)を学びます。
- 2年次には「基礎演習」として、心理学、社会学、身体科学の各専門分野に関する演習科目を開講しており、実験や調査の企画・設計から、実施・実査、レポートの執筆まで、実験・調査の基礎を体験的に学ぶことができます。
- 3年次には、各専門分野の少人数のゼミナール(専門演習Ⅰ・Ⅱ)を開講し、1年間かけて専門知識を修得しながら、卒業論文執筆に向けて土台を固めていきます。
- 4年次には、専門演習と同じ教員・メンバーで、卒業論文の執筆に取り組みます。

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	心理学実験基礎演習Ⅰ 心理学実験基礎演習Ⅱ 社会調査演習Ⅰ 社会調査演習Ⅱ 身体科学実験基礎演習	人間科学科専門演習Ⅰ 人間科学科専門演習Ⅱ	卒業論文

【「心理学実験基礎演習Ⅰ・Ⅱ」とは??】

基礎的な心理学の実験および調査を経験することを通して、科学研究に必要な基礎的な知識と技術を身に着けることを目的とした授業です。具体的には、参加者として実験や調査に参加するとともに、実験者を担当したり、実験刺激を作成したり、収集したデータについて統計的分析を行い、科学的形式のレポートにまとめることを体験します。つまり、心理学の研究で実際に行われていることを、学生自身がコンパクトな形で体験することができる授業です。実験や調査を自分たちで行ってみることによって、心理学全般に関する学びを深めることができます。



「心理学実験基礎演習」授業内での実験の様子

💡【人間科学科の魅力②】ー2025年度卒業生のコメントからー

- 学科の授業で特に印象に残っているのは「社会調査演習」です。社会調査の方法を学びながら、実際に自分たちでテーマを設定し、独自で調査をしてレポートとしてまとめることは大変でしたが、学びになることが多く、良い経験でした。授業の中で初めてインタビュー調査を経験し、個人の語りから分析していくスタイルが面白く、卒業論文でインタビュー調査をしたいと思ったのも、この授業がきっかけでした。座学だけでなく、実際に調査を経験しながら学べたことで、自分の興味をより深めることができました。1年間という長い期間をかけて取り組んだので、非常に大変でしたが、書き終えた今となっては良い経験になったと思います。私は自分の興味のあることをテーマにしたことで、楽しみながら調査を進めることができました。好きなことや関心のあることをテーマにした方が調査も楽しんで行えると思います。(Cさん)

【人間科学科によくある質問】



【大正大学には心理学を学べる学科が他にもあるようですが、どのような違いがありますか？】

人間科学科における心理学の学びの特色は、「Life(生活・生命・人生)」を視野に入れ、具体的な生との関わりを重視する点にあります(P.2の講義科目一覧を参考にしてください)。この点で、社会学や身体科学とも重なり合いながら学ぶことができるようになっています。一方で、心理学に関する科目全般を幅広く学ぶこともできます。人間科学科の心理学系科目の単位を修得することで、大学での心理学の標準的な基礎知識と基礎技術を修得していることを証明する「認定心理士」や「認定心理士(心理調査)」を取得できます。なお、臨床心理学関係の資格(公認心理師、臨床心理士など)は取得できません。

【大正大学には社会学を学べる学科が他にもあるようですが、どのような違いがありますか？】

社会学は、家族・職場・地域社会などの集団、メディアや文化、人々の価値観やコミュニケーションなど、「Life」に関わるさまざまな事象を研究対象とします。人間科学科の社会学では、心理学、身体科学の領域を横断的に学びながら、これらの研究対象を複合的・複眼的に理解しようとする点に特徴があります。具体的な開講科目はP. 2の講義科目一覧をご覧ください。また、「社会調査演習 I・II」を含む、社会調査に関わる一連の科目を修得することにより、「社会調査士」の資格を取得することができます。

【私は社会や数学が苦手なのですが、人間科学科の授業についていけますか？】

人間科学科で学ぶ「社会」に関連した授業は、中学校や高等学校までの授業とは異なり、ただ「暗記」をするような授業ではありません。地理歴史や公民に苦手意識がある方も、社会に対する関心を持っていれば、面白さを感じながら授業に参加することができます。また、人間科学科には統計学を学ぶ授業が複数ありますので、数学が苦手な方にも分かるようにカリキュラムがつけられています。そのため、4年間の学びを通して統計的なものの見方や考え方を身につけることができます。

2026年度 オープンキャンパス 人間科学科 模擬授業(予定)

3月21日(土)	心理学: 長谷川先生 ※終了しました!
5月31日(日)	心理学: 荒生先生 本日のオープンキャンパス の模擬授業はこちら!!
6月28日(日)	社会学: 荒川先生 心理学: 谷田先生
7月26日(日)	身体科学×社会学 :内田英二先生、澤口先生 心理学: 荒生先生
8月22日(土)	心理学×社会学 :井関先生、木村先生 社会学: 池田先生
9月12日(土)	身体科学: 内田雄先生 社会学: 畑山先生

【編集後記】

- ◆ 『らいふみる』2026年版第2号(2026年5月31日発行)をご覧いただき、ありがとうございました。今回は人間科学科の授業の魅力についてご紹介しました。次号は、人間科学科の専門演習と卒業論文についてご紹介する予定です。どうぞご期待ください。次号以降もよろしくお願いいたします。
- ◆ 『らいふみる』は大正大学人間学部人間科学科について知りたい方のためのフリーペーパーです。本冊子の記事や写真などを無断で複製・転載しないようお願いいたします。
- ◆ 人間科学科ブログ: https://www.tais.ac.jp/faculty/department/human_sciences/blog/

